

がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース応用編 研修計画	
研修目的	がん薬物療法の特性を理解し、薬物療法を受ける患者に必要な看護援助を実践できる。
一般目標	がん薬物療法を受ける患者の包括的なアセスメントに基づいた看護援助を考え、実践に適用することができる。
行動目標	1. がん薬物療法に用いる薬剤の特性について理解できる。 2. がん薬物療法による主な副作用症状とセルフケア支援について述べることができる。 3. がん薬物療法を受ける患者の状況を包括的にアセスメントして、必要な看護援助を理解できる。
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・実務経験2年以上 ・日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ以上※ ・名大病院主催のがん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース基礎編修了者(見込みを含む) ・eラーニングによる受講が可能 ・Microsoft Teams(リアルタイム)によるグループワーク参加が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの5段階
募集人数	30名程度(先着順)
研修方法	・eラーニングによるオンデマンド配信 ・Microsoft Teams(リアルタイム)によるグループワーク
オンデマンド配信期間	2024年9月24日(火)正午～10月22日(火)正午
グループワーク日程	①11月29日(金)9:00-11:00 ②11月29日(金)12:00-14:00 ③11月29日(金)15:00-17:00 ④11月30日(土)9:00-11:00 ⑤11月30日(土)12:00-14:00 ⑥11月30日(土)15:00-17:00 受講決定後に通知する①～⑥いずれかの日程で参加する。 グループ編成の関係上、日程の希望は受け付けていません。
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など
研修後課題	所属部署において本研修を活かした看護を実践し、レポートにまとめて提出する。
修了要件	講義eラーニングすべて受講、確認テスト合格、グループワーク参加、研修後課題の提出
受講推奨環境	1) 講義:eラーニング(オンデマンド配信) ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4 ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください。 2) グループワーク:Microsoft Teams(リアルタイム) ・カメラ・マイクを使用 Microsoft のホームページで推奨環境を確認してください
受講料	無料(通信料は自己負担)

がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース応用編 申込	
申込期間	2024年8月1日(木)正午～8月20日(火)正午 定員になり次第、申込を終了します。
申込方法	2024年度がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース応用編申込フォーム(下記URL または QR コード)より入力してください https://forms.gle/haiFCgVik1N5zcyjW6 
受講可否の送付	応募者全員に施設代表者を通して、受講の可否を郵送で連絡します。 2024年9月18日(水)までに通知がない場合は、問合せ先に連絡してください

2024 年度 がん看護研修Ⅱ がん薬物療法看護コース 応用編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5 分	がん看護専門看護師 山本 陽子
がん薬物療法概論Ⅱ	がん薬物療法薬の分類と作用機序、特徴 ・細胞障害性抗がん薬 ・分子標的治療薬 ・免疫チェックポイント阻害薬、免疫関連有害事象	60 分	化学療法部医師 下方 智也
投与管理とリスクマネジメント	抗がん剤投与におけるリスクマネジメント	30 分	がん化学療法 看護認定看護師 濱 昌代
がん薬物療法に伴う副作用症状とセルフケア支援	口腔粘膜炎	20 分	がん看護専門看護師 岡嶋 彩乃
	皮膚障害（ざ瘡様皮疹・手足症候群など）	40 分	濱 昌代（前掲）
	グループワーク：事例検討（副作用とセルフケア支援）	60 分	山本 陽子（前掲）
	グループワーク：患者指導について	45 分	がん薬物療法 看護認定看護師 森田 まゆみ
がん薬物療法を受ける患者・家族のアセスメント	がん薬物療法を受ける患者・家族の置かれている状況 患者の身体的、精神的、社会的アセスメント	45 分	森田 まゆみ （前掲）
外来におけるがん薬物療法と看護支援	外来におけるがん薬物療法の現状と診療報酬 看護師の役割と他部門との連携	20 分	がん看護専門看護師 原 万里子